

令和2年4月17日

社員各位

特定非営利活動法人共創のまちサポート

理事長 増子 裕昭

第3回通常社員総会変更のご通知

4月6日付で第3回通常社員総会のご案内を差上げたところですが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況から、一堂に集まるのではなく、書面によるやり取りに変更いたします。

同封しました議案書をご覧になり、賛成であれば同意書に署名、捺印のうえ、ご返送くださいますようお願い申し上げます。

できれば1週間以内程度でいただければ幸いです。

意義がある場合はその旨別紙にお書きいただきご返送願います。

お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

皆様も感染には万全のご注意を払い、元気で収束を迎えられますことをご祈念申し上げます。

記

1. 審議事項

第1号議案	令和元年度事業報告
第2号議案	令和元年度収支決算
第3号議案	令和2年度事業計画
第4号議案	令和2年度収支予算
第5号議案	役員の改選

実施報告書 (令和元年度分)

事業名	コミュニティ食堂事業		
団体名	特定非営利活動法人 共創のまちサポート		
事業費総額	1,689,137 円	補助確定金額	960,000 円

①事業の概要

どのような事業を行いましたか。簡潔に書いてください。

平日の朝食の提供及び昼食の提供。

具体的には、朝食は、平第 14 区公民館で毎週火曜日、水曜日の 6:30～8:00 に実施。昼食は、毎週第 3 土曜日（平第 14 区公民館）、第 4 土曜日（いわき市好間公民館）で 11:00～13:00 に実施しました。
大人 300 円、高校生 100 円、中学生以下の子ども 50 円の低料金で野菜、肉類、たんばく質等、健康的でバランスの摂れた朝食を提供しました。

②事業の振り返り

(1) 事業の対象がおかれていた状況や課題をどの程度まで改善できましたか。

年度末で 110 回程度開催し、約 2,000 人程度参加しました。

平第 14 区の区長も毎週参加していただき、区長を囲むようなかたちで交流の輪ができ、コミュニティの場としてある程度実績ができたと考えています。

また、一人暮らしの高齢者の方で、参加されてより健康になり、地域の催しにも積極的に参加するようになった事例や閉じこもりがちだった小学生が家族と参加して、元気になった事例等もありました。

(2) この事業を行う上で一番苦労したことは何ですか。

苦労した点としては、「こども食堂は貧困家庭の人が行く所で、そんな所へ行ったら、みんなに笑われてしまう」という偏見があったことです。
都会では抵抗なくこういった事業も受け入れられておりますが、地方では周囲の目があり、時間をかけて丁寧に説明していかねばなりません。

(3) この事業で達成できなかったこと、反省点があれば記入してください。

利用人数は 1 回 15 人程度を目標としていましたが、昼食は多い時で 60 人以上にもなり、平均すると 1 回約 18 人で、前年度に比べると増加しており、周知がある程度広がったかなと感じています。しかし、朝食に参加することどもの割合が低いことから、こどもが多く利用できるよう工夫をしていきたいと思いません。

③ 事業の内容

(1) この事業は、具体的にどのようなことを行ないましたか。また、貴団体として、特に工夫した点がありましたら、記入してください。

公民館で平日の朝食の提供及び昼食の提供を行いました。

具体的には、朝食は、平第 14 区公民館で毎週火曜日、水曜日の 6:30～8:00 に実施。昼食は、毎週第 3 土曜日（平第 14 区公民館）、第 4 土曜日（いわき市好間公民館）で 11:00～13:00 に実施しました。

大人 300 円、子ども 50 円の低料金でバランスの摂れた朝食を提供しました。

この食堂は、子どもの成長の手助け、高齢者の体カづくりがメインにこなしてはなりません。1 回限りのイベントではなく、日常レベルに落とし込んだ事業でなければ効果は出ないと考え、週 3 日、朝食の提供を実施しました。

また、貧困対策がメインではないことを示すために、こども食堂ではなくコミュニティ食堂と名付け、子どもも無料ではなく敢えて有料としました。

それから献立の周知を図るため、公民館の看板に掲示したほか、Facebook 等で 1 週間分の献立を毎週発信しました。

また、コミュニティ食堂事業の理解を深めてもらうため、「BREEZE IWAKI」にサイトを開設したほか、1 か月に 1 回程度「コミュニティ食堂だより」を作成し、地域の回覧や Facebook 等に載せたりして普及に努めました。

(2) この事業はどのようなスケジュールで行いましたか。スケジュール表に記入してください。「場所や人数など」欄に参加人数やスタッフ人数も記入してください。

月	内容	場所や人数など
4月～ 6月	朝食を毎週火曜日、水曜日に実施。第3土曜日にはランチを提供。大人300円、高校生100円、子ども50円の料金でバランスの摂れた朝食を提供。	平第14区公民館で、スタッフ5人程度、参加者15人弱
7月～ 9月	新しく第4土曜日に好間公民館でも昼食を提供。大人300円、高校生100円、子ども50円の低料金でバランスの摂れた朝食を提供。	新たに好間公民館でスタッフ10人程度、参加者60人程度
10月～ 12月	朝食は、平第14区公民館で毎週火曜日、水曜日の6:30～8:00に実施。昼食は、毎週第3土曜日（平第14区公民館）、第4土曜日（いわき市好間公民館）で11:00～13:00に実施。	平第14区公民館及び好間公民館で、スタッフ15人程度、参加者20人弱
1月～ 3月	朝食は、平第14区公民館で毎週火曜日、水曜日の6:30～8:00に実施。昼食は、毎週第3土曜日（平第14区公民館）、第4土曜日（いわき市好間公民館）で11:00～13:00に実施。 3月中旬以降は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため休止を余儀なくされた。	平第14区公民館及び好間公民館で、スタッフ15人程度、参加者20人弱

④事業の担い手

(1) この事業におけるスタッフなどの役割分担はどのようなになっていましたか。

スタッフは、皆働いており、朝早い時間は厳しい状況で常勤はできない状態であった。

そこで、調理の委託をし、前日に買出し、前処理をしておき、当日は調理してもらい、その他曜日ごとに割振られたボランティアが、炊飯、料理の盛付け、配膳、洗い等をするように役割分担を行った。

(2) 団体及びスタッフの持つノウハウ（専門性）がどのようにこの事業に活かされましたか。	(3) 外部団体、または個人から、どのような協力が得られましたか。
--	-----------------------------------

調理師の免許を持つスタッフが2名おり、最初料理の基本的な指導を積極的に行ってくれた。 また、ウェブ上でデータを処理するのが得意なスタッフがいて、月に1回程度「たより」を作成してくれた。	フタバ鶏卵さんから毎週温泉卵を約40個頂いたり、幸楽苑さんからレトルトカレーを約500食頂きました。 また、磐栄運送㈱から毎年新米を30kg頂き、内山産業㈱からも人参や大根等多くの食材の提供を受けました。
---	---

⑤事業の成果

この事業を行うことで、貴団体自身に、どのような成果をあげることができましたか。また、新しい気付きや問題意識を得ることができましたか。

本団体も昨年度 NPO 法人として設立したばかりであり、具体的な事業はこれが最初であることから、ボランティアとのコラボの仕方、日計表等の経理、区長や館長をはじめとする地域との連携、補助金の活用の仕方等すべてが学びでした。

そのような中で、年間 110 回程度事業を実施してきたこと、2月8日にコミュニティ食堂オーナーラムを開催できたこと等により、参加者や地域との間に信頼関係が構築されたことが大きな成果だったと思われます。

やはり地道に継続して行うことが、このような社会事業には大事なのだと改めて気づかされました。

また、参加者との話の中で、当該事業の改善点や新規にやるべき事業のヒントが得られることも多く、様々な方の想いや願いに耳を傾けていくことがニーズの発掘には必要なことだと感じています。

全体予算

収入の部	予算額	執行額	差額	内容
経費項目				
自主財源	777,340	591,400	185,940	年会費代 審附 入会金 その他
事業収入	468,000	369,860	107,140	朝食代
補助金	1,000,000	960,000	40,000	まちづくり活動 支援事業
その他助成金	1,154,908	1,273,185	-118,277	子ども食堂助成金 こくしきつこくならびに 食生活改善推進事業 正味経費 放出し助成金
合計	3,400,248	3,185,445	214,803	
繰越正味財産		185,950		
合計		3,371,395		

ノト助成事業30

NP0法人単独執行予算40

予算額	執行額	差額	内容
541,400	541,400	0	年会費代 18,000 審附 523,400
0	0	0	食事代
237,908	237,908	0	子ども食堂助成金 200,000 経収益 37,908
779,308	779,308	0	

支出の部	予算額	執行額	差額	内容
経費項目				
業務委託費	229,600	192,000	-61,400	
諸謝金	161,000	195,900	-34,900	シチボロ謝金等
旅費	127,500	208,880	-81,380	会員旅費 出張旅費
消耗品費	142,000	370,808	-228,808	食器類一式 カス炊飯器29,900円 屋外シンク14,800円 ガス代等
通信運搬費	0	25,137	-25,137	
広告宣伝費	130,000	296,600	-166,600	
使用料	22,000	10,340	11,660	集会所使用代 チラシコピー代 パンフレットコピー代
印刷製本費	20,000	41,722	-21,722	パンフ作成
原材料費	1,799,000	970,916	828,084	食材費 お米
福利厚生費	44,000	44,000	0	
手数料	0	0	0	
保険料	18,340	18,450	-110	事業活動包括保険
光熱水費	0	2,092	-2,092	プロパンガス代
雑費	30,000	33,000	-3,000	倫理法人会会費
合計	2,723,440	2,508,845	214,595	

予算額	執行額	差額	内容
0	0	0	役員報酬
28,500	28,500	0	0 日当通勤代等
0	0	0	
0	0	0	
0	0	0	
0	0	0	
0	0	0	
0	0	0	
44,000	44,000	0	0 5年給
0	0	0	
0	0	0	
30,000	30,000	0	0 倫理法人会会費
102,500	102,500	0	
676,808	676,808	0	

収入-支出 676,600
繰越正味財産 185,950-180,000 (補助金未
入額) =382,550 (通帳と一致)

決算書 (令和元年度分)

事業名	コミュニティ食堂事業
団体名	特定非営利活動法人 共創のまちサポート

【単位:円】

収入の部	決算額	内容	明細	種別番号	補助対象
経費項目					
自主財源	50,000	寄附・入会金・会費等			
事業収入	360,860	朝食及び昼食売上			
補助金	960,000	まちづくり(ソフト)支援事業			
その他助成金	318,277	民間の助成等	炊出し助成金 4万円 社益福祉事業推進助成金 20万円		
合計	1,689,137				

支出の部	決算額	内容	明細	種別番号	補助対象
経費項目					
旅費	16,160	タクシー代 高速道路代	各種打合せ等に出席	33等	
消耗品費	258,101	台所用品代等	※以下詳細別紙	1, 6, 14等	
食料費	910,917	野菜、肉、調味料等	※以下詳細別紙	2,3,4,5等	
業務委託費	171,000	HP更新、セミナー記録等	NPOのHP作成、更新 コミュニティ食堂により作成等	319等	
使用料	10,340	便りなど各種コピー代	※以下詳細別紙	28, 39等	
謝礼金	66,300	ボランティアへの謝金	※以下詳細別紙	85等	
広告宣伝費	167,000	のぼり旗製作費等	※以下詳細別紙	186,210	
印刷製本費	40,840	コミュニティ食堂たより等	※以下詳細別紙	42,4等	
光熱水費	2,092	フロアパンガス代			
通信運搬費	25,137	切手代等		78,130等	
保険料	18,450	事業活動包括保険	超ビジネス保険(事業活動包括保険)		
雑費	3,000	ふくしま子ども食堂 ネットワーキング会費			
合計	1,689,137				
補助対象経費					

監査報告

令和元年度「特定非営利活動法人 共創のまちサポート」の
収支決算内容及び財産状況を監査した結果、適正に執行されて
いることを確認したのでここに報告します。

令和2年4月14日

監事 菊地 秀明



事業計画書 (令和2年度)

事業名	コミュニティ食堂事業		
団体名	特定非営利活動法人	共創のまちサポート	
事業費総額	2,385,900円	補助申請額	1,000,000円
事務担当者名	増子 裕昭		
連絡先	090-6251-5814	メールアドレス	hmashiko0@icloud.com

①事業の概要

どのような事業ですか。簡潔に書いてください。

食を通じて、地域のコミュニティの再生、地域経済の活性化、子どもの貧困解消等、複合的な課題の解決を図っていくことを目的とする。
 当面は、安価な金額の朝食でバランスの摂れた食事を提供するコミュニティ食堂事業を実施するが、その内容は、地域の八百屋、米屋、味噌屋等地域小売店と連携を図り、朝食を提供することで、子どもたちもしっかりと朝食を摂り、独居高齢者等の方も気軽に立ち寄れ、顔見知りになって交流を深めていくものである。

②事業対象の把握

(1) 誰/何を対象として、この事業を行いますか。具体的に書いてください。

実質的には、第14区集会所近隣に住む住民全般を対象とするが、他地域からの参加も歓迎である。地域のコミュニティの再編を大きな目標にしており、具体的には、朝食を作るのが容易ではない共働き、父子母子、貧困などの世帯、独居高齢者、高齢者夫婦の世帯等の幅広い参加があれば事業の効果も上がると思われる。

(2) 対象のおかれている現状・課題は何ですか。具体的に書いてください。

2年間、事業を継続して行っており、食事を通じての地域のコミュニティづくりは、かなり周知がなされてきたように思える。あんな（貧困の人が集まる）ところへ行ったら笑われるといった偏見もだいぶ薄れてきたようである。

次は、コミュニティ食堂を市内に複数個所設置することが重要であると思われる。郡山市、会津若松市などでは5, 6か所設置してある現状を鑑みると、いわき市の市域面積や人口からいって10か所程度は必要である。

(3) この事業によって、現状をどの程度まで改善できるのか。具体的な目標を書いてください。

令和2年2月8日には、コミュニティ食堂を知らない方や、これから食堂を開設したいが方法がわからない方を対象に、市との共催で「コミュニティ食堂フォーラム」を開催した。

実際に食堂をやってみたいという「鹿島地区振興協議会」の代表も参加しており、セッションの中で赤井地区や勿来地区などでもやってみたいという方がいた。私たちのこの事業を継続することによって「コミュニティ食堂」の周知がより図られるとともに、培ってきたノウハウやスキルをお伝えし、食材を融通しあうことによって他団体の食堂開設の支援ができるものと考えている。具体的には他地域3か所程度を目標としたい。

③事業内容

(1) この事業は、具体的にどのような計画内容で行いますか。また、貴団体としての工夫を書いてください。

この事業は、食を通じて地域のコミュニティの再編を図っていくというのが主な目的であり、地域の住民や商店等を巻き込んで、料理や野菜等食材の提供など様々な協力のもと進めていき、加えて磐城高校も近いことから学習ボランティアによる学習支援も含め、最終的には地域の方が主役となって継続し展開していく形を目指していく。その成功事例をもとに別の場所でも同様の事業を支援し、将来的には市内に多くのコミュニティ食堂が形成されるようにする。また、最終的には朝食だけでなく、給食センターとタイアップした昼食、スパーマーケットと連携した夕食等も提供し、1日の食事をすべて提供できる体制としたい。

(2) (1)の計画内容の準備から事業終了までを、下のスケジュール表に記入してください。なお、下表の『場所や人数など』欄に参加予定人数やスタッフ人数を記入してください。

時期	内容	場所や人数など
4月 ～ 6月	週に2回程度（火、水）朝食の提供 （6:30～8:30）を行う。 ランチは月に2回で第3土曜日が平第 14区集会場、第4土曜日が好間公民館で 11:00～13:00の間、開催する。 1食当たり大人300円、高校生100円、 小中学生の子どもは50円。予約無しでも 受入れ可。 実施日を回覧やSNSなどで周知を図っ ていく。	場所：平第14区集会 場、好間公民館 参加人数： 朝食15～20人 ランチは30～50人 スタッフ数：3人

7月 ～ 3月	上記の結果を踏まえ、月に実施する曜日を確定したい。 実施日を回覧や SNS などでも周知を図っていく。	新しく食べにくる肩を増やしていきたい。朝食は常時 20 人程度にしたい。 ランチも常時 50 程度にしたい。
---------------	--	---

④事業の担い手

<p>(1) この事業に関わる団体の人数とその役割分担はどのように行いますか。</p> <p>団体としては、4人程度を考慮しており、食材を購入し、料理を作る人が2名、配膳、片付けをする人が2名とする。</p> <p>しかし、皆仕事があることから、曜日ごとにセッティング、配膳・洗い、後片付け等に担当を分け、負担のかからないようなローテーションを組んでいく。</p>	
<p>(2) 団体及びスタッフの具体的な実績や経験を書いてください。</p>	<p>(3) 外部団体、または個人による協力の予定があれば、書いてください。</p>

<p>理事長は、平第 1 集会場で実施している「子ども食堂」を約 2 年間、最初の立上げから参加している。また、地域の小学生・中学生をそれぞれのクラスで月に 2 回（土曜日）英語をフリースクールとして教えていた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「磐栄ホールディング」さんからお米の提供。 ・「NPO 法人ザ・ピープル」さんからフードバンク」事業の一環としての支援。 ・「ふくしま子ども食堂ネットワーク」さんから事業全般の支援やアドバイザーを受けている。
--	---

⑤ 事業の活用による団体の発展性

この事業を行うことによって、貴団体にとって、どのような成長が期待できますか。これを踏まえた今後の活動についてお書きください。

この事業を行うことにより、事業の進め方や収支についてのノウハウを学ぶことができ、地域の方や様々な団体と連携することで、次の事業の協力にもつながってくるものと期待している。

また、継続的に実施回数を増やし実績を上げていくことで事業への理解や団体への信頼度も増し、その他の事業に対しても多くの市民の理解や協力が得やすくなると考える。

当団体のコンセプトは、民間でできる事業は幅広く行ない、行政と併せて共創のまちを創り上げることである。以下、定款でも事業実施を予定している。

- ① CSR 活動サポート事業
- ② 行政等補助事業
- ③ 学習支援（フリースクール）事業
- ④ コミュニティ食堂事業
- ⑤ 人財育成事業
- ⑥ 地域清掃事業
- ⑦ 地域情報出版事業

- ⑧ 高齢者サポート事業
- ⑨ 障害者サポート事業
- ⑩ 婚活サポート事業
- ⑪ 困りごと相談事業
- ⑫ 経営コンサル事業
- ⑬ 武道継承事業
- ⑭ 図書カフェ事業
- ⑮ 各種アンケータ事業
- ⑯ 上記に関連する一切の事業

また、私たちは、いわき出身の中央省庁の有志が組織する「霞が関からいわきを支援する会」（会長は文科省の教育改革推進室長の内田広之氏）とも連携しており、中央省庁や大企業のCSRの一環としての「ひと・もの・かね」の受け皿としての機能も有している。今後は活動内容を動画で広報し、理解を深めていただき、この事業に即した支援を受けていきたい。

2020年度の新規事業について

まだ正式な契約は結んでおりませんが、教育委員会から(仮称)「英語教育サポート事業」が委託される予定です。

これは、小学5, 6年生の英語が教科化されることから、英語授業をサポートできる英語が堪能なサポーターを当NPO法人が公募、登録し、希望する小学校へ派遣するという事業です。

総額は約580万円ですが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、どの程度需要があるのかは、はっきり言って未定であります。

しかし、子供が英語を楽しく感じて、英語を好きになってもらうことを第一と捉え、英語授業をうまくサポートできたらと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

事業名	コミュニティ食堂事業
団体名	NP0 共創のまちサポート

収入の部	予算額	内容	積算基礎	(単位:円)
経費項目				
自主財源	445,900	年会費代 寄附 入会金 その他	17人×2,000円=34,000円 30人×10,000円=300,000円 5人×3,000円=15,000円 96,900円	
事業収入	540,000	朝食・ランチ代	10人×300円×2回/週×4週/月×12月=288,000円 5人×50円×96回=24,000円 30人×300円×2回/月×12月=216,000円 10人×50円×2回/月×12月=12,000円	
補助金	1,000,000	まちづくり活動 支援事業	2,385,900円×2/3=1,590,600円 > 1,000,000円	
その他助成金	400,000		民友愛の事業団 20万円 子ども食堂助成金 20万円	
合計	2,385,900			

支出の部	予算額	内容	積算基礎	見積番号	補助対象
経費項目					
謝金	292,000		税理士顧問料 5,000円/月×12月+決算40,000円 HP更新代等 6,000円/月×12月=72,000円 ポラ謝礼 500円×20人/月×12月=120,000円 郡山高速バス代 3,100円×12回=37,200円 タクシー代 1,000円×12回=12,000円 50,000円 100,000円		
旅費	49,200		郡山高速バス代 3,100円×12回=37,200円 タクシー代 1,000円×12回=12,000円 50,000円		
消耗品費	150,000	台所用品関連 インクジェット等PC関連	100,000円		
印刷製本費	130,000		パンフレット作成代 (前回同額)		
通信運搬費	100,800		コミュニティ食だより郵送代等 100人×84円×12月=100,800円		
広告費	129,600	BREEZE IWAKI掲載	ポータルサイト掲載代129,600円 (前回同額)		
委託料	360,000		調理委託料 30,000円×12月=360,000円		
使用料	75,960	コミュニティ食だよりコピー チラシコピー代	200部 5,880円/月×12月=69,960円 50枚/月×12月×10円=6,000円		
原材料費	1,080,000	食材費	朝食 500円/人×15人/回×96回/年=720,000円 昼食 500円/人×30人/回×24回/年=360,000円		
備品購入費					
手数料					
保険料	18,340	事業活動包括保険	超ビジネス保険 (事業活動包括保険) 18,340円		
その他					
合計	2,385,900				
補助対象経費					

第 5 号議案

役員の変更について

任期等については定款第 16 条に「役員任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。」と記載されております。

設立以来 2 年経ちますが、これまでの NPO 運営について特に問題はないと考えられることから役員全員を再任とし、互選である理事長、副理事長職も引き続き同一人物としたいと思います。